

3 生涯にわたって学び続ける「ふじの人」の育成

(1) 社会教育

市民一人一人の生きがいがづくりや現代的・地域的課題への対応を目指し、まちづくりセンター講座や市民大学等の多様な学習の機会を提供するとともに、個人の自主的な学びを支援するために、市政いきいき講座等を行っている。

① 社会教育委員会議

社会教育法に基づいて社会教育委員を設置し、教育委員会の諮問機関として、社会教育の推進に関する諸計画等を審議している。学識経験者、学校教育、家庭教育の関係者で構成されている。
(17人)

令和4年度の内容等

	開催日時・会場	審議・報告事項
第1回	令和4年6月7日（火曜日） 午後1時30分～ 教育プラザ1階 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・富士市の社会教育行政について ・社会教育課所管事業について
第2回	令和4年8月30日（火曜日） （書面による開催）	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりセンター講座について ・キズナ無限∞の島事業のリニューアルについて ・社会教育課所管事業視察について
第3回	令和4年11月2日（水曜日） 午後1時30分～ 教育プラザ1階 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりセンター講座について ・令和5年富士市はたちの記念式典について ・18歳新成人への祝意について
第4回	令和5年1月31日（火曜日） 午後1時30分～ 教育プラザ1階 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度 社会教育課主要事業の計画の概要について ・富士市まちづくりセンター講座の受講料について

② 富士市民大学

豊かな人づくりを目指し、より高度で専門的な知識を学ぶ機会を提供するため、市民大学を開催している。令和4年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施した。

前期ミニカレッジは、大学教授等と連携を行い、全6講座を開講。後期講演会は、各界の著名人を講師に招き、ロゼシアター大ホールを会場に全5回の講演会を開催した。



富士市民大学前期ミニカレッジ



富士市民大学後期講演会

ア 令和4年度（第28回）富士市民大学前期ミニカレッジ講座内容

科 目	講 師 名	受講生	会 場
表現力アップ！ 読み聞かせ・話し方講座	フリーアナウンサー・新郎読家 杉山 直	20	富士市教育プラザ
世界遺産で知る世界 ー地理・歴史・文化・政治	静岡県立大学 国際関係学部 准教授 富澤 かな 静岡県立大学大学院 国際関係学研究科 助教 小泉 佑介 静岡県立大学 国際関係学部 講師 山本 健介 静岡県立大学 国際関係学部 准教授 ファイファー・マティアス	42	富士市教育プラザ
宇宙で知りたい3つのこと ～ブラックホール、宇宙の 始まりと終わり、宇宙人～	静岡大学 教育学部 講師 内山 秀樹	50	ロゼシアター
市民歴史講座「海道一の弓 取り 今川義元」	静岡大学 名誉教授 小和田 哲男 駒澤大学 文学部歴史学科 准教授 浅倉 直美 静岡市文化財保護審議会 委員 大石 泰史 駒澤大学 名誉教授 久保田 昌希 慶應義塾大学 文学部 教授 小川 剛生 東洋大学 文学部史学科 非常勤講師 柴 裕之	74	ラ・ホール富士
防災講座「天災を理解し、 身を守る～予測不可能な 災害に備えて～」	静岡大学防災総合センター 教授 牛山 素行 富士市防災危機管理課 静岡県地震防災センター（実地研修） 常葉大学 社会環境学部 教授 阿部 郁男 常葉大学 社会環境学部 講師 今野 明咲香 常葉大学 社会環境学部 准教授 河本 尋子	25	富士市教育プラザ 静岡県地震防災 センター
文学講座「国宝『源氏物語 絵巻』の世界に触れる」	静岡県立大学 国際関係学部 准教授 竹部 歩美	34	富士市教育プラザ
合 計 人 数	245 人		

イ 令和4年度（第42回）富士市民大学後期講演会講演内容

回	開 催 日	テ ー マ	講 師 名	会 場
1	9月15日(木)	人権って何？	弁護士 菊地 幸夫	ロゼシアター 大ホール
2	9月29日(木)	脳を知ってモチベーションアップ	薬学博士/東京大学 薬学 部 教授 池谷 裕二	〃
3	10月4日(火)	知っておきたい 高齢になると生じる心と体の変化	介護ジャーナリスト 小山 朝子	〃
4	10月14日(金)	時代を読み解く ～正しい判断は正しい情報から～	元民放解説委員長/海洋 冒険家 辛坊 治郎	〃
5	10月27日(木)	脚本家の視点から ～ドラマの取材を通して思うこと～	脚本家 中園 ミホ	〃

※新型コロナウイルス感染症対策として、ロゼシアター大ホールを会場に実施

ウ 講座のあゆみ（第31回以降の募集定員・受講生数・講座回数及び受講料の推移）

回数	年度	募集定員	受講生数	講座回数	受講料	会場
第31回	平成23年度	700人	551人	7回	4,000円	ロゼシアター 中ホール
第32回	平成24年度	700人	690人	7回	4,000円	〃
プレ講演会	平成25年度	700人	507人	1回	無料	〃
第33回	平成25年度	700人	617人	7回	4,000円	〃
	単発券		38人		1,500円	
第34回	平成26年度	700人	698人	7回	4,000円	〃
第35回	平成27年度	700人	703人	6回	3,500円	〃
第36回	平成28年度	700人	525人	6回	3,500円	〃
	単発券		76人		1,500円	
第37回	平成29年度	700人	491人	6回	3,500円	〃
	単発券		46人		1,500円	
第38回	平成30年度	700人	647人	6回	3,500円	〃
第39回	令和元年度	700人	725人	6回	3,500円	〃
第40回	令和2年度	500人	498人	2回	1,500円	ロゼシアター 大ホール
第41回	令和3年度	700人	606人	6回	3,500円	〃
第42回	令和4年度	700人	879人	5回	3,000円	〃

③ 市政いきいき講座

市民と職員との対話を通じて、市民の市政への理解を深めることを目的に、職員が市民、団体等の求めに応じ、指定された会場（市内に限る）へ出向き、市民（10人以上）に日常業務の説明や情報提供を行っている。

令和4年度 開催実績 件数 201件 参加者総数 9,779人

ジャンル	件数	人数	ジャンル	件数	人数
市政	3	48	教育文化	6	103
健康・福祉	4	52	生活安全	170	8,739
市民生活	14	586	環境	4	251
まちづくり	0	0	計	201	9,779

④ まちづくりセンター講座

各地区まちづくりセンターを会場に、新しい趣味の発見や仲間づくり、教養を深める身近な場を提供することを目的として、乳幼児から高齢者まで幅広い世代の方々を対象にさまざまな分野の講座を開催している。

なお、まちづくりセンター講座については、地区まちづくりセンターにおいて補助執行で実施していたが、令和3年度から教育委員会社会教育課に所管を変更して、以下のような講座区分ごとに実施している。(令和4年度開催実績：286講座、延受講者数15,646人)

ア 人づくり講座

地域の資源や魅力を知る学習や地域の人材を活用した学習、地域活性化に資する学習等を目的として実施。地域の活動に主体的に取り組む人材の育成を図ることをねらいとしている。(令和4年度開催実績：講座数55講座、延受講者数3,377人)



人づくり講座
浮島「大人の自然塾」



少年教育講座
「ブロック合同デイキャンプ」

イ 少年教育講座

主に小学生を対象に、社会生活に必要な能力を養うことや他の年齢層とのつながりを持つこと、また学校ではできない体験学習等を通じて、地域への愛着を養い、将来富士市を背負っていく世代の育成を目的として実施。活動内容は、ニュースポーツ体験、食育料理教室、自然遊びや野外活動、環境学習、ブロック合同キャンプ事業などがある。(令和4年度開催実績：講座数31講座、延受講者数1,053人)

ウ 家庭教育講座

主に未就園児と保護者を対象に、育児や子どもの健康に関する学習をするとともに、保護者同士が交流を深めることなどを目的として実施。主に、子どもとの接し方、自立心、生活習慣等、子どもの教育や健康、性格形成期の問題などを学習する。(令和4年度開催実績：講座数13講座、延受講者数704人)

エ 高齢者講座

高齢者を対象に、健康づくり・仲間づくり・生きがいづくりや社会参加の促進などを目的に実施。主な活動内容は、各種教養講座や健康づくりのための体操等の運動講座、工作など、多様な内容を実施している。(令和4年度開催実績：講座数25講座、延受講者数1,648人)

オ みんな講座

市内で活動している民間団体が企画・運営を行う、初心者でも気軽に参加できる講座として、主に新しい趣味の発見や仲間づくり、教養を深めること等を目的に実施。地域に根付いた魅力的な講座を目指し、民間団体が得意とする分野の講座を実施している。(令和4年度開催実績：講座数85講座、延受講者数5,763人)

カ 市民プロデュース講座

市内で活動している団体や市民が企画・運営する講座として実施しており、市民主体の地域づくりや地域の担い手づくりを推進することを目指している。(令和4年度開催実績：講座数18講座、延受講者数1,078人)

キ オープン自主グループ講座

同じ趣味や興味・関心を持つ仲間が集まり、まちづくりセンターで活動している自主グループが開催する初心者向け体験講座(令和4年度開催実績：講座数34講座、延受講者数768人)。

ク 生涯学習人材バンク講座

生涯学習人材バンクの登録講師が企画・運営する講座。はじめての方にもわかりやすい初心者向けの内容を中心に実施する。(令和4年度開催実績：講座数25講座、延受講者数1,255人)



家庭教育講座
伝法「かんがるークラブ」



高齢者教養講座
「紙工作」

(2) 図書館

① 施設設備の概要

ア 富士市立図書館一覧

図書館名	開館	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	構 造	施設の概要	
中央図書館	本館	S39. 2. 11 (H7. 10. 4移転)	5, 279. 47	7, 526. 47	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上4階地下1階	AV以外の全ての資料が1階ワン フロアで利用でき、障害者、高齢者 等に配慮した施設
	分館	H12. 8. 10	1, 865. 08	2, 904. 67	鉄骨造2階	AVコーナーと作品を展示できる 市民ギャラリー等のある施設
	今泉 分室	H12. 4. 16	今泉まちづ くりセンタ ー敷地内	359. 83	鉄筋コンクリート造3階	今泉まちづくりセンター分館の図 書施設で、児童をはじめ地域の人た ちに親しまれている
	田子浦 分室	H15. 4. 12	田子浦まち づくりセン ター敷地内	191. 80	鉄筋コンクリート造2階 (図書館部分は、1階)	田子浦まちづくりセンターに併設 の図書施設で、乳幼児や児童に親し まれている
	大淵 分室	H20. 4. 20	大淵まちづ くりセンタ ー敷地内	220. 50	鉄筋コンクリート造2階 (図書館部分は、1階)	大淵まちづくりセンターに併設の 図書施設で、児童や生徒に親しまれ ている
	富士川 分室	H20. 11. 5	富士川ふれ あいホール 敷地内	229. 99	鉄筋コンクリート造3階 (図書館部分は、1階)	富士川ふれあいホールに併設の図 書施設で、郷土の特色を活かし、地 域の人たちに親しまれている
西図書館	S55. 11. 25 (H20. 4. 4 移転)	富士市交流 プラザ敷地 内	1, 259. 02	鉄筋コンクリート造3階 (図書館部分は、1階)	富士市交流プラザに併設の図書施 設で、地域の人や通勤、通学の人た ちに親しまれている	
東図書館	S62. 4. 1	吉永まちづ くりセンタ ー敷地内	321. 73	鉄筋コンクリート造2階 (図書館部分は、1階)	吉永まちづくりセンターに併設さ れた図書館で、児童をはじめ地域の 人たちに親しまれている	
富士文庫	H2. 4. 18	鷹岡市民プ ラザ敷地内	823. 05	鉄筋コンクリート造2階	旧私立「富士文庫」の蔵書を引き継 ぎ、貴重な資料を多く所蔵している	

イ 移動図書館 (BM : Book Mobile)

開設 昭和43年5月1日
更新 令和5年2月1日 スズキキャリィ(ガソリン車)2台に更新し使用開始
巡回方法 約500冊を搭載し市内45か所を巡回(令和5年度71か所に増設)
施設配本 まちづくりセンター等19か所、高齢者施設7か所に配本

ウ でごいち文庫

開設 昭和53年4月17日
施設 入山瀬公園内のD51機関車に隣接している客車を改造した施設

② 主な出来事と取組

- 中央図書館(4分室を含む)と地域館3館の1年間の入館者数は834,940人、資料の貸出者数は428,910人、また、貸出点数は1,777,961点(電子書籍を含む)である。
- 6月15日、「ふじ電子図書館」を導入し、電子書籍貸出サービスを開始した。令和4年度の実利用者数は5,256人、貸出点数は27,424点である。小中学生が学校での読書の時間等に電子書籍を利用できるよう、市内の全小中学校の児童生徒に電子図書館のIDとパスワードを配付した。
- 移動図書館車を更新し、軽自動車2台体制として、2月1日から運用を開始した。令和5年度からの本格運用に向け、これまでより巡回場所・回数を増やす準備を行った。また、外部のイベント等に参加し、新移動図書館車のPRを行った。
- 第三次富士市子ども読書活動推進計画に基づき、6か月児を対象に絵本の配付と読み聞かせを行う「ブックスタートふじ」事業では、新型コロナウイルス感染症対策のため、読み聞かせの実演は行わず対面での手渡しのみとした。1,437人に配付、配付率は94.4%であった。3歳児を対象に絵本の配付と読み聞かせを行う「セカンドブックふじ」事業でも、絵本の手渡しのみとし、1,746人に配付、配付率は98.6%であった。

③ 富士市子ども読書活動推進計画について

本市では、平成 18 年に「富士市子ども読書活動推進計画」、平成 23 年度に「第二次子ども読書活動推進計画」、令和 3 年度には「第三次富士市子ども読書活動推進計画」を策定した。この第三次計画は、第一次、第二次での成果や課題を検証し、さらなる推進に向けた取組を進めるためのもので、令和 4 年度から実施し、子どもの読書活動推進に取り組んだ。

ア 計画の基本方針

本計画の基本方針を次に挙げ、全市的な読書計画を進めていく。

○「読書環境の整備」

子どもの発達段階や興味に応じた適切な本が、生活や学習の場でいつでも利用できる読書環境を整備する。

○「読書機会の提供」

子どもが楽しく読書できるように、関係機関等と連携して個々の場に応じた読書活動を実施し、読書習慣の確立を図る。

○「普及・啓発」

子どもの読書活動に関する理解や関心を高めるため、子どもや子どもに関わる全ての大人に対し広報活動に努める。また、子どもと本を結びつける大人の活動を支援する。

イ 具体的な施策について

○家庭・地域における読書活動

ブックスタートふじ事業、セカンドブックふじ事業を取組の柱として、乳幼児期からの読書習慣の形成を図る。また、地区まちづくりセンターにおけるボランティアによるおはなし会のほか、児童施設や図書館が連携して読書活動を行う。

○幼稚園・保育園・認定こども園における読書活動

幼稚園・保育園・認定こども園の蔵書を充実し、各園における読み聞かせ活動を推進する。園児のいる家庭での読書機会を増やすための啓発活動を行う。読書推進に関する職員研修に取り組む。

○学校における読書活動

児童生徒の読書習慣の形成を図るため、学校司書の全校配置を継続し、学校図書館を計画的に活用する。GIGA タブレットを活用した読書のため、「ふじ電子図書館」の利用を促進する等、従来の書籍に加え ICT を活用した読書活動を推進する。中高生の読書推進のため、学校と協力したイベント等を開催するなど、学校と図書館が連携した取組を行う。

○図書館における読書活動

乳幼児期から図書館の利用を促進するため、親子が利用しやすい環境の整備を行う。図書館への来館が困難な子どもに対して、関係機関との連携や、移動図書館の活用により資料の提供を行う。令和 4 年度に導入した電子図書館システムでも、電子書籍の利点を生かした本を提供するなど、子どもの読書推進を図る。読み聞かせボランティア等が実施する読書活動推進に向けた研修を実施する。

④ 資料所蔵の状況

令和 5 年 3 月 31 日現在

区 分	中央図書館	西図書館	東図書館	富士文庫	合 計
図 書 (うち児童書)	793,068 冊 (232,207)	127,044 冊 (43,583)	71,829 冊 (28,528)	118,569 冊 (37,425)	1,110,510 冊 (341,743)
A V 資料	36,138 点	—	—	—	36,138 点
複製絵画	343 点	—	—	—	343 点
デジタル化資料	2,629 点	—	—	—	2,629 点
電子書籍	12,859 点	—	—	—	12,859 点
購入新聞	19 種	9 種	7 種	8 種	20 種
購入雑誌	211 種	59 種	67 種	58 種	249 種

※中央図書館には、移動図書館、今泉、田子浦、大淵、富士川の各分室、でごいち文庫を含む。購入雑誌は令和 4 年 6 月 1 日現在。

⑤ 利用状況

令和4年度

区分	中央図書館	西図書館	東図書館	富士文庫	合計
貸出点数	1,200,214点	306,152点	119,789点	151,806点	1,777,961点
貸出人数	283,301人	79,248人	29,234人	37,127人	428,910人
レファレンス件数	20,105件	6,776件	2,034件	4,858件	33,773件
予約件数	145,188件	6,651件	3,136件	5,056件	160,031件

※中央図書館には、移動図書館、今泉、田子浦、大淵、富士川の各分室、でごいち文庫、まちづくりセンターを含む。

※中央図書館の貸出点数には、電子書籍を含む。

⑥ 事業実績

令和4年度

館名	事業の名称	回数	延参加者	講師・共催団体等（敬称略）
中央図書館	ブックスタートふじ	36	1,437	6か月児を対象とした絵本の配付
	セカンドブックふじ	45	1,746	3歳児を対象とした絵本の配付
	図書館まつり	1	732人	実演：図書館職員、ボランティア他
	一般講演会「古文書考証が語る静岡の戦国」	1	58	講師：大石 泰史
	ビブリオバトル	1	46	主催：ビブリオバトル実行委員会 協力：富士市立高校
	ビジネス支援講演会	2	9	講師：小松 謙一
	音訳ボランティア特別講座	1	14	講師：熊谷 成子
	音訳ボランティア勉強会	3	39	講師：芝本 安由美
	点訳ボランティア勉強会	2	32	講師：黒崎 よし乃
	読みきかせボランティア・デビュー講座	6	74	講師：平山 壽子
	わらべうた・手遊び講習会	2	22	講師：畔高 京子
	おはなし会	128	874	実演：図書館職員
	古文書入門講座	9	116	講師：図書館職員
	夏休み読書感想文書き方講座	1	20	講師：佐藤 いずみ
	生の語りできく 遠野の昔話の会	1	48	講師：大平 悦子
	子育て絵本教室	5	84	講師：平山 壽子
バリアフリー絵本展・キンダーブック展	1	—	富士市・静岡福祉大学連携事業	
西図書館	おはなし会	80	233	実演：図書館職員
	夏休み読書感想文書き方講座	1	24	講師：佐藤 いずみ
	わらべうたを楽しもう	1	8	講師：畔高 京子
東図書館	おはなし会	49	268	実演：図書館職員
	夏休み読書感想文書き方講座	1	20	講師：佐藤 いずみ
	昔話をきく会	1	14	実演：渡邊 佐代子
	かんたん！楽しい！消しゴムはんこ	1	5	講師：田嶋 みゆり
富士文庫	おはなし会	50	395	実演：図書館職員
	富士文庫特別コレクションを知る講座	3	51	講師：菊地 治彦
	影絵と音楽の世界	1	48	講師：和久田 恵子
	夏休み読書感想文書き方講座	1	14	講師：佐藤 いずみ
	わらべうたを楽しもう	1	17	講師：畔高 京子

(3) 少年教育

子どもたち自身が社会の変化に柔軟に対応できる「生きる力」を育むため、関係機関が連携して、青少年の健全育成に取り組む社会の形成を推進するとともに、次代を担うジュニアリーダー養成事業の開催や、さまざまな体験・交流の場を提供している。

① 富士市青少年問題協議会

青少年問題協議会は、地方青少年問題協議会法の規定に基づいて設置され、青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する事項を協議するためのものである。令和4年度は、青少年相談センター事業について、講演会「青少年を取り巻くサイバー犯罪の事例と対策」及び意見交換を行った。

期 日：令和5年2月10日(金)

② 子育て講演会

小中学校へ入学する子どもを持つ親を対象に、子どもの心理や最近の動向、しつけや問題行動への対処方法などについて学習することで、家庭教育や子育てのあり方を見直す機会を提供する。令和4年度は、学校側と調整し、新型コロナウイルス感染防止対策を行ったうえで開催した。

小学校 対象者 1,332人 開催校数 20校

中学校 対象者 2,011人 開催校数 15校

③ 富士市・雫石町少年交流事業

平成16年度から、富士市と雫石町の小学生が隔年で交互に訪問しあい、施設見学や体験学習などを通して友情を深めることを目的として実施している。

令和4年度は事前研修まで行ったが、新型コロナウイルス感染症の感染状況の悪化により、本研修、事後研修は中止となった。

事前研修：令和4年7月16日(土)

参加者：富士市の児童20人、班付リーダー5人、指導員、保健担当

内 容：航空機事故について、仲間づくり等



事前研修の様子

④ 青少年体験交流事業「キズナ無限∞の島」

平成24年度の第29回を最後に廃止された「青少年の船」に代わって、宮城県気仙沼市の大島を研修地として、4泊5日の宿泊型体験研修を行い、一生懸命生きることの大切さとキズナの大切さをともに学ぶことを目的としている。

令和4年度は事前研修まで行ったが、新型コロナウイルス感染症の感染状況の悪化により、本研修は中止となった。後日、教育プラザで代替研修を行った。

代替研修：令和4年9月3日(土)

参加者：中学生31人、高校生3人、青年6人

内 容：ブロック別活動



代替研修の様子

キズナ無限∞の島同窓会 ～大島への感謝とキズナ～

平成26年度から行ってきたキズナ無限∞の島が、令和5年度から研修地を長野県に変更し新たな青少年体験交流事業として生まれ変わることとなった。いままでお世話になった気仙沼市大島に感謝を伝えること、研修を通して知り合った仲間同士が再び会う機会を設けることを目的に実施した。

期 日：令和5年3月11日(土)

参加者：97人

⑤ ジュニアリーダー養成事業

子どもたち自身の手によって子ども会活動ができるように、活動の担い手となる中学生、高校生の指導者「ジュニアリーダー」を養成し、子ども会活動の発展を図るものである。

〔ジュニアリーダー養成研修会〕【基礎編】

期 日：令和4年5月15日(日)

参加者：30人(内世話人4人)

内 容：子ども会に関すること(意義・目的・組織)

ジュニアリーダーに関すること(役割・心構え・態度)

〔ジュニアリーダー養成研修会〕【安全編】

期 日：令和4年6月26日(日)

参加者：22人

内 容：活動を行う上でのKYT(危険予知トレーニング)

〔夏のジュニアリーダー養成講習会〕(台風により中止)

期 日：令和4年8月13日(土)～

令和4年8月14日(日)

内 容：野外活動、野外炊事、ゲーム等の手法の学習

〔ジュニアリーダー養成研修会〕(実技編) ※夏のジュニアリーダー養成講習会代替事業

期 日：令和4年11月6日(日)

参加者：23人

内 容：野外活動、ゲーム等の手法及び活動進行の学習

〔インリーダー養成講習会〕

期 日：令和4年11月19日(土)～

令和4年11月20日(日)

参加者：19人(内スタッフ5名)

内 容：ジュニアリーダーに関すること(役割・心構え・態度)

〔ジュニアリーダー養成研修会〕【総合編】

期 日：令和5年3月19日(日)

参加者：13人

内 容：アイスブレイク等の手法や活動の計画と進行方法の学習

〔春のジュニアリーダー養成講習会〕

期 日：令和5年3月25日(土)～

令和5年3月26日(日) 参加者47人(内スタッフ28人)

内 容：野外活動、野外炊事、キャンドルファイヤー等

⑥ 青少年活動助成事業

次代を担う青少年の健全育成を目的として、青少年や各種団体の活動を支援するため、青少年の健全育成に取り組んでいる団体に対して、助成を行った。

(4) 青年教育

青年が自らを磨き、社会的資質の向上を図る機会の場を提供するため、勤労青年に対する学習支援や、青少年指導者の養成講座を開催している。

① はたちの記念式典（旧称：成人式）ほか関連事業

《名称変更について》

令和4年4月1日から民法改正により、成年年齢が18歳に引き下げられたため、式典名称をこれまでの「成人式」から「はたちの記念式典」に変更した。

はたちの記念式典

関係機関・団体の協力を得て、20歳を迎える方々の、大人としての責任を改めて促すとともに、地元愛の醸成を推進するため実施した。令和4年度同様、新型コロナウイルス感染症対策として、会場にて中学校ごと2つに分けた2部形式で式典を行った。

日 時：令和5年1月8日（日）13：00～13：50、15：30～16：20

場 所：富士市文化会館（ロゼシアター）大ホール

内 容：オープニング（富士高校書道部パフォーマンス（映像））、励ましの言葉、お祝いの言葉、記念品贈呈、はたち応援プログラム（はたちの記念式典実行委員会企画のライド上映、恩師メッセージ）、市立高校チアリーダー部パフォーマンス

参加者：1,754人（参加率68.4%：該当者2,563人）

令和3年成人式代替事業「#フジハタチ+2 ～再会の場～」

新型コロナウイルスの影響により、会場開催からWEB配信での開催及び撮影スポットの設置とインスタグラムを活用したイベントに変更したことにより、実際に集まる機会が失われた令和3年富士市成人式の対象者に、成人式とは違った形で、旧友と再会し、旧交を温める機会を提供するために実施した。

日 時：令和5年1月9日（月）15：30～16：00

場 所：富士市文化会館（ロゼシアター）大ホール

内 容：これまでのあゆみ、検討委員からのメッセージ

参加者：165人（参加率6.5%：該当者2,539人）

もうひとつのはたちの記念式典

日 時：令和5年1月15日（日）10：55～11：15

場 所：富士市教育プラザ

内 容：励ましの言葉、お祝いの言葉、記念品贈呈、応援プログラム（書道パフォーマンス、富士特別支援学校恩師メッセージ）

参加者：17人

令和5年富士市はたちの記念式典の映像配信

掲載日：令和5年1月18日（水）～24日（火）

掲 載：富士市ウェブサイトはたちの記念式典ページ内からのリンクによる富士市公式YouTubeアカウントに掲載

内 容：オープニング（富士高校書道部パフォーマンス（映像））、励ましの言葉、お祝いの言葉、記念品贈呈、応援プログラム（はたちの記念式典実行委員会企画のライド上映、恩師メッセージ）、市立高校チアリーダー部パフォーマンス

視聴数：651回

18歳新成人への祝意メッセージ送付事業

令和4年4月1日から、民法の改正により成年年齢が18歳に引き下げられたため、18歳の門出の時期に、成人を迎えられたことを祝い、新成人としての自覚を促し、今まで育ってきた環境を改めて見つめ直す機会を提供するため、あたたかみのある祝意メッセージを送付した。

対象者：2,472人

時期：令和5年3月上旬発送

内容：市長メッセージカード・新成人応援動画（QRコード）・ほうじ茶一煎パック



はたちの記念式典の様子



18歳新成人への祝意メッセージ

② ジャンプアップスクール・ふじ（旧勤労通信学園富士学習会）

働きながら高校の通信課程で学習しようとする人の学習援助（数学、英語の講師派遣）と情報交換の場を提供した。

この学習会は静岡県立中央高校通信制課程の特別活動に位置付けられている。

期 日：令和4年5月～令和5年2月

場 所：教育プラザ

※近年、参加者数や出席率が減少してきていることや、本学習会を特別活動に位置付けている静岡県立中央高校からも廃止の申し出があったことから、令和4年度を最後に、「ジャンプアップスクール・ふじ」を廃止することとなった。

今後も引き続き、学生の居場所・学習の場として、教育プラザの開放を継続していく。

③ 青少年育成ボランティア養成講座

人と人がつながることの温かさや心強さを再認識するとともに、積極的に、地域へ参画することができる人材の育成を目的に青少年健全育成活動や社会貢献活動に参加する講座を実施している。

また、静岡県が実施している級別青少年指導者認定事業の上級位認定を支援する。

令和2、3年度に続き令和4年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。

(5) 青少年教育センター

青少年教育センターは、青少年を対象に文化や教養と社会性を身につけるための教養講座を提供したり、サークル活動など青年の集う場を提供したりすることを目的としている。また、青少年団体の活動拠点にもなっている。

① 青年教養講座の開設

市内に在住、または在勤(在学)の青年を対象に、余暇を利用して仲間づくりや豊かな教養と社会性を身につけるために開設している。なお、新型コロナウイルス感染症対策として定員を減らす等の対策を講じ開講した。

青年講座 サイクリング、油絵、SDGs 講座ほか 31 講座 受講生 284 人



リラクゼーションヨガ



サイクリング



油絵BASIC

② サークル活動

青年のニーズの多様化と意識の変化に対応できるように、サークル活動を積極的に推進している。

	サークル名	活動内容	人数
1	B T M	バトミントン	15 人
2	S U N	3 on 3	9 人
3	あすなる	硬筆	13 人
4	グループ青春	軽音	5 人
5	ギターを続けよう	ギター	5 人
6	M a k e a b r e a d	パンづくり	5 人
7	すばいくる☆	ソフトバレー	13 人
8	みんなでミシン	ミシン	5 人
9	コンパニエロ	フットボール	11 人
10	気まぐれ美術部	絵画	6 人

③ 青少年教育センター利用者会

本センターの青年教養講座、サークル活動をしている青年が、利用者会を組織して交流会や体験学習等の活動を通し、相互の親睦と活動の一層の推進を図っている。また、市民のニーズに対応した社会貢献活動も幅広く行っている。

※ 青少年教育センター利用者会 会員数 136 人



灯の路



避難訓練

(令和4年度)

	事 業	日 時	場 所
1	避難訓練 (火災)	5月20日	教育プラザ1階
2	イベント 「灯の路～手づくりの光ゆらめく空間～」	12月17日	〃
3	青少年センター利用者会総会	5月30日	〃
4	第2回利用者会	11月15日	〃
5	青少年センター利用者会役員会	随時	〃
6	ボランティア (清掃活動)	5月14日	
7	ボランティア (チャリティマルシェ)	7月10日	
8	はたちの記念式典スタッフボランティア	1月8日	ロゼシアター
9	ボランティア (国際交流フェア)	2月5日	ふじさんめっせ

④ 青少年教育センター利用状況 (令和4年度)

区 分	計(人)	計(回数)
青年教養講座	964	134
青年サークル	631	123
青少年教育センター利用者会	30	3
社会教育課	1,777	119
青少年相談センター	2,387	262
富士市教育委員会	3,462	104
市役所関係	3,642	169
社会教育団体	2,187	132
その他	4,952	365
合 計	20,032	1,411

(6) 青少年相談センター

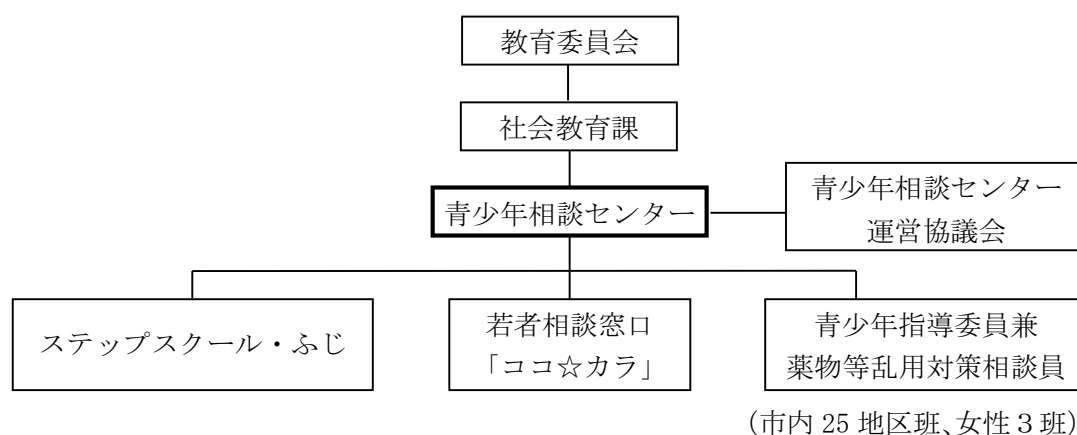
青少年相談センターは、次代を担う青少年の健やかな成長を支援するために、青少年ならびに保護者等を対象とした相談業務、不登校児童生徒を対象とした「ステップスクール・ふじ」、非行の未然防止を図る補導活動、青少年を取り巻く環境の浄化活動、そのほか関係機関・関係諸団体との連携の中で行う非行および不登校対策や、地域ぐるみで取り組む青少年健全育成活動等を推進し、青少年支援のセンターとしての役割を担っている。また、ニートやひきこもり、不登校など社会生活を営む上で困難を抱える若者やその家族を支援するため、若者相談窓口「ココ☆カラ」を開設している。

① 富士市青少年相談センターの組織・機構

設置主体 富士市（富士市教育委員会）

設置年月日 昭和42年4月1日

所在地 富士市八代町1番1号 TEL 52-4152 FAX 52-3737



② 富士市青少年相談センターの活動

ア 非行防止活動

青少年指導委員(126名)、青少年相談センター職員を中心に警察官、少年警察補導員、少年警察協助力員、まちづくり協議会青少年育成部門、民生児童委員、保護司、PTA役員等の協力を得て補導活動を実施している。

(7) 通常補導……地区内巡回補導、市街地補導

(4) 特別補導……祭典補導、県内一斉少年補導

イ 青少年健全育成活動

(7) 「富士市青少年の非行・被害防止強調月間」

- ・「社会を明るくする運動」と連携し、街頭啓発キャンペーンを実施
- ・広報、啓発活動
- ・健全育成諸行事、諸活動（講演会、パレード、啓発活動等）
- ・県内一斉少年補導、県内一斉立入調査、環境浄化活動等

(4) 「富士市子ども・若者育成支援強調月間」

- ・地区生涯学習推進会等の団体主催による、地域における健全育成諸行事への協力

ウ 社会環境浄化活動

コンビニ、遊技場、玩具店、書店、マンガ喫茶、カラオケボックス等への立入調査をはじめ、青少年に有害な陳列等の定期調査等を行っている。

エ 相談業務

青少年の健全な発達を支援するため、適切な助言や指導を行い、問題解決を図っている。相談

には「面談」と「電話相談」があり、「面談」では、来所・通所・訪問相談を行っている。また、臨床心理士による面談を実施している（要予約）。「電話相談」は相談員が「青少年相談ふじ（愛称「ほっとテレフォン・ふじ）」で相談に応じ、Eメールでの相談も受け付けている。更に、不登校児童生徒を支援するため「ステップスクール・ふじ」を開設している。

(ア) 面談……青少年、保護者、学校教職員など。（来所・通所・オンライン）

(イ) 電話相談……青少年相談ふじ『愛称：ほっとテレフォン・ふじ』（青少年、保護者）

(ウ) 訪問相談……学校訪問、家庭訪問など。

◇相談日と時間 面談 月曜～金曜 9時00分～16時30分

電話相談 月曜～金曜 9時30分～16時30分

(エ) 「ステップスクール・ふじ」

不登校の児童生徒に場所と時間を提供し、一人一人に応じた支援を進める中で、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立していくことを目指していく。

個にあわせた学習支援、不安や悩みを取り除くための継続的な面談、仲間づくりや社会との関わりを学ぶ自然体験学習、青少年相談員による訪問指導等を実施している。

(オ) 「ほっとデジタル相談・ふじ」

小中学校全児童生徒が使用するタブレットを活用した相談を令和5年2月から実施している。

a 「ステップスクール・ふじ」開所日

☆毎週月曜日～金曜日の8時00分～18時00分までを基本としている。

☆子どもが自分のペースにあわせて利用できる。

（例えば午前中のみや、午後のみ、短時間のみ等の利用も可能）

☆土・日曜日・祝日は休み。長期休業中は、基本的に休み。

☆給食はなし。昼食が必要な場合はお弁当を持参する。

b 「ステップスクール・ふじ」の特徴

☆一日の予定は、自分自身で決められる。

☆勉強がわからないところは相談員と一緒に考える。

☆悩みがある場合はその都度相談員が相談に乗る。

さわやかタイム	8:00～8:50	朝の活動
学 び 1	9:00～11:20	学びの時間
運 動 1	11:30～12:00	スポーツ活動
<昼食・昼休み>	12:00～13:00	昼食・休憩・自由時間
学 び 2	13:00～14:50	学びの時間
運 動 2	15:00～15:30	スポーツ活動
ふれあいタイム	15:30～18:00	交流活動

c 体験学習

☆自然の大切さや仲間づくり、他者とのかかわり方を学ぶために、一か月に一回程度、体験学習を行っている。（カレーづくり、ものづくり、スプリングコンサート、遠足等）

オ 子ども・若者育成支援事業

ニート・ひきこもり等の社会生活を営む上で困難を抱える子ども・若者について、関係機関と連携し、支援していく。

(ア) 子ども・若者支援協議会 代表者会議1回・担当者会議1回

(イ) 若者相談窓口「ココ☆カラ」

開所日時 火～土曜日 9時00分～17時00分

対 象 者 富士市在住・在学の、概ね中学校卒業時から39歳までの子ども・若者

事業内容 ・相談、居場所、体験活動、就労支援
 ・若者サポーター養成講座
 ・茶話会（家族会） ・合同相談会

カ 広報活動

青少年問題への関心を高めるためのチラシや、子どものしつけや家族のあり方を啓発するリーフレット等の配布及び「青少年相談センターだより」を発行（年4回）している。

キ 研修活動

青少年相談センター職員、学校関係職員、青少年指導委員、相談員の資質の向上を図るため、下記の研修を行っている。また、市民を対象に講座を開設し、望ましい「人との関わり方」について学習できる機会を設けている。

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| (ア) 青少年指導委員全体研修会 | (イ) 青少年指導委員ブロック研修会 |
| (ウ) 電話相談機関連絡会研修会 | (エ) 相談センター所員研修 |
| (オ) 不登校等児童生徒対策研修会 | (カ) 不登校等児童生徒の保護者教室 |
| (キ) 「ステップ・スクール・ふじ」の保護者・担任面談 | (ク) カウンセリング講座 |

ク 関係機関・団体との対策会議

学校・警察・児童相談所・こども家庭課などと常に緊密な連携を保ちつつ、問題行動を起こした少年やその家庭への指導・援助に努めている。具体的には、市の青少年問題を考える青少年問題協議会をはじめ、非行防止の具体策を協議する学校警察連絡協議会、小学校生徒指導主任者会、中学校生徒指導研究会、青少年指導委員による補導措置会議への参加や、関係機関の共通理解を深めるための青少年対策関係機関連絡会、不登校児童生徒への対応を研究し対策を協議する不登校等児童生徒対策連絡会及び不登校等児童生徒対策研修会を開催している。

また、文部科学省・内閣府や静岡県青少年対策本部が打ち出す青少年対策の基本方針を確認しながら、県補導センター連絡協議会、東部補導センター連絡協議会、県電話相談機関連絡協議会等にも積極的に参加している。

③ 補足資料(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

★青少年指導委員会

青少年指導委員会は、地区班25班、女性班3班の計28班を組織し補導活動を行っている。

〈通常補導〉 月2回の通常補導では、地区班は19時から21時頃の間に区内を、女性班は土曜の日中にゲームセンター等を巡回し補導活動を実施。

〈祭典補導〉 大がかりなイベント(祇園祭・富士まつり・甲子秋まつり・毘沙門天大祭)の際、会場及びその周辺を巡回し補導活動を実施。

〈大型店舗特別補導〉

大型店舗の店内、及びその周辺を巡回し補導活動を実施。

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症拡大のため、青少年の外出も減少し、青少年指導委員会の諸活動も大きく制限された。

通常補導は規模縮小・回数減となり、他の諸活動も多くが中止となった。

総補導件数は135件(前年度の125件から10件増加)である。行為種別では「その他」の「その他」が最多で、駅やコンビニ、公園などで声掛けをしたものがほとんどである。

★青少年指導委員による補導活動

活動名	出勤回数	参加人数	補導件数	特記事項
通常補導(地区巡回)	671	2,113	89	規模縮小、回数減
祭典補導(祇園祭、富士まつり、甲子秋まつり、毘沙門天大祭)	3	216	46	富士まつり以外実施
大型店舗補導、通学補導	—	—	—	事業を中止
補導措置会議	10	283	—	回数減
合計	684	2,612	135	

★県内一斉少年補導

参加人数 夏季 554人 冬季 659人

参加者

青少年相談センター職員、PTA役員、警察官・少年警察補導員・少年警察協働員・少年指導委員、女性団体役員、教育委員会職員、民生児童委員・保護司、青少年指導委員、地区まちづくり協議会青少年育成部門、地区防犯協会役員、地域安全推進員 他

★補導状況

(単位：件)

		小学生	中学生	高校生	その他	有職少年 無職少年	合 計
飲	酒	0	0	0	0	0	0
喫	煙	0	0	0	0	0	0
深 夜	徘徊	0	0	0	0	0	0
不 良	交友	0	0	0	0	0	0
怠 学	・ 怠 業	0	3	0	0	0	3
シンナー等薬物乱用		0	0	0	0	0	0
不健全 娯 楽	ゲームセンター入場	2	0	0	0	0	2
	パチンコ店入場	0	0	0	0	0	0
	その他の風俗営業入場	0	0	0	0	0	0
暴 走 行 為		0	0	0	0	0	0
自転車の2人乗り・無灯火		0	0	4	1	1	6
危 険 な 遊 び		6	0	0	0	0	6
そ の 他	帰 宅	1	0	42	13	0	56
	マ ナ ー	0	29	14	4	0	47
	そ の 他	2	4	7	2	0	15
合 計		11	36	67	20	1	135

★来所相談及び通所・「ステップスクール・ふじ」

(単位：人)

相談対象者	人数	来 所 者	人数	相 談 内 容	人数
就学前・小学生	786	家 庭	667	学 校 生 活	1
中 学 生	3,649			対 人 関 係	0
高 校 生	24	学 校	302	進 路 ・ 適 性	0
有 職 少 年	5	利用・ステップ関係	3,508	※非社会的行動	4,468
無 職 少 年	1	諸 機 関	67	心 身 の 発 達	33
そ の 他	89	そ の 他	10	反社会的行動	0
				そ の 他	52
計	4,554	計	4,554	計	4,554

※非社会的行動は不登校

★面談件数・利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
面談件数 (件)	28	14	18	13	6	23	22	17	9	16	12	7	185
利用人数 延べ(人)	44	114	238	172	48	354	383	478	389	445	504	339	3,508

★電話相談「ほっとテレフォン・ふじ」の受信状況

○受信件数 66件 ○業務日数 244日

○学校、その他・男女別受信状況

(単位：件)

	小学生	中学生	高校生	他の学生	有職	無職	保護者	祖父母	一般	層不明	計	不明(無言)
男	1	1	3	1	0	0	1	0	0	1	8	35
女	1	2	1	0	0	0	14	1	4	0	23	
計	2	3	4	1	0	0	15	1	4	1	31	66

○学校、その他・内容別受信状況

(単位：件)

	小学生	中学生	高校生	他の学生	有職	無職	保護者	祖父母	一般	層不明	計
A学校生活	1	1	0	0	0	0	8	0	0	0	10
B対人関係	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
C進路適性	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
D非社会的	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	4
E心身発達	0	1	3	0	0	0	3	0	0	0	7
F反社会的	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	35
Gその他	0	1	0	0	0	0	3	0	2	1	7
計	2	3	4	1	0	0	15	1	4	36	66

*D非社会的は不登校、F反社会的は無言

★メール相談 相談総数 年間3件

★若者相談窓口相談件数

【新規相談】(主訴による分類)

年齢区分	家庭				学校			医療・福祉			社会				その他	計
	親子関係	虐待・暴力	非行・犯罪	その他	いじめ	学業・進路	その他	発達障害	精神疾患	その他	生活支援	就労支援	対人関係	その他		
就学前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15～19	3	0	0	0	0	27	5	0	0	0	0	8	4	6	5	58
20～29	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	14	0	6	4	27
30～39	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3	1	2	3	12
40～	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	1	1	3	10
計	7	0	0	0	0	27	6	0	1	0	3	27	6	15	15	107

【新規相談】(状況による分類)

年齢区分	不登校	ひきこもり				その他	計	有職	無職	計
		自室内	家庭内	コンビニ等外出	趣味外出					
就学前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15～19	21	1	1	0	0	35	58	2	56	58
20～29	0	0	2	1	2	22	27	4	23	27
30～39	0	0	1	1	1	9	12	1	11	12
40～	0	0	0	0	0	10	10	0	10	10
計	21	1	4	2	3	76	107	7	100	107

【継続相談】 年間 1,172 件

【合計相談件数】 年間 1,280 件

【居場所利用人数】 年間 延べ2,903 人

【アウトリーチ】 年間 182 人に対して 305 回訪問

(7) 少年自然の家

少年たちが自然とのふれあいを通じて集団的な生活や活動をする中で、自然に対する心情や社会生活における基本的な態度を養うなど、その自発性、社会性を助長して、豊かな人間形成を図るための社会教育施設である。平成 28 年度から指定管理者制度を導入し、より一層の施設利用促進に努めていく。

① 教育目標

豊かな自然の中で学校や家庭では得がたい体験をさせることにより、次の目標の達成を図る。

- ・自然に直接ふれることにより、自然探求や野外活動に関心を持たせ、活動を通じて自然愛護の心を養うとともに、共生の心と健康の増進を図る。
- ・野外活動を通じて、自ら考え行動する態度を育てる。
- ・集団宿泊生活を通じて、規律を重んじる態度や奉仕の精神を養うとともに、助け合いの連帯意識を育てる。

② 施設の概要

所在地 富士市大淵 10847-1
T E L 0545-35-1697
F A X 0545-36-2799

ア 少年自然の家

昭和 49 年 10 月 1 日開設
建物面積 (2,697.16 m²)
鉄筋コンクリート造 3 階建
収容人員 250 名

- ・ 1 階
事務室 医務室 相談室 浴室 2 室
トイレ リネン室 宿直室 倉庫
ボイラー室等
- ・ 2・3 階
宿泊室 10 室 リーダー室 2 室 トイレ
リネン室
- ・ その他
丸火体育館 (鉄筋コンクリート造一部 2 階建
面積 916.4 m²)
食堂 研修室兼宿泊室 会議室 リーダー室
ボンベ室他

イ 丸火青少年の家

昭和 41 年 7 月 11 日開設
平成 21 年 4 月 18 日改築開所
建物面積 (264.55 m²)
木造平屋造
収容人員 60 名
(「ふじ」、「あしたか」の 2 部屋
各部屋定員 30 名、2 団体まで利用可能)
宿舎 炊飯棟 調理棟 トイレ 倉庫 広場



少年自然の家



↑ 丸火体育館

食堂 ↓



丸火青少年の家

③ 事業

丸火自然公園の豊かな自然環境と宿泊施設という特徴を生かし、青少年が自然体験学習を通して、社会性・協調性を養う機会を提供するものとして、指定管理者が事業を展開している。

平成28年度から利用団体の範囲の拡大を図り、学習活動のための施設利用を積極的に受け入れている。従前の利用団体（野外活動を目的とした、市内小学校5年生のみどりの学校をはじめとする市内外の幼稚園・小中学校、及び子ども会・ボーイスカウトなどの少年団体）の利用は、最優先に受け入れ、対応している。

利用に際しては、利用者には利用目的の明確化を求め、事前指導や協議の際には安全面への配慮に重点を置き、目的にあった活動展開ができるよう十分な支援を行う。

ア 継続事業

教育委員会より継承して指定管理者が令和4年度開催した事業は下表のとおりである。

事業名	期 日	対 象	人数	ね ら い
ししどて学級 年間5回	6月4日(土)	保護者 説明会	64	「ししどて」は、丸火に残されている猪を追い込む堤で、鎌倉時代から伝えられている。この歴史ある地で、自然をベースに、仲間づくりや自然活動などさまざまなプログラムを通じて、自立心や他者への思いやりの心を育む。
	①7月2日(土)～3日(日) ②8月19日(金)～21日(日) ③10月8日(土)～9日(日) ④11月12日(土)～13日(日) ⑤12月10日(土)～11日(日)	市内小学校 4～6年生		
星座教室	2月4日(土)～5日(日)	市内小学校 4～6年生	50	丸火から見える天体を観察し、宇宙の不思議さや星座を学び、星や宇宙に関する興味関心を高める。
春の家族自然 のつどい	4月17日(日)	市内在住・ 在勤の家族	50	自然観察、野草料理を通じて、自然愛護の心と家族の絆を育む。
秋の家族自然 のつどい	11月6日(日)	市内在住・ 在勤の家族	30	秋の丸火の自然休養林を散策し、紅葉の鑑賞、クイズ等を実施し、森の自然を堪能する。
冬の家族自然 のつどい	2月12日(日)	市内在住・ 在勤の家族	30	丸火自然公園で洞窟探検を含む謎解きラリーを実施し、冬の森を家族で楽しむ。



春のつどい



ししどて学級



冬のつどい

イ 自主事業

指定管理者が自主事業として令和4年度に実施した事業は下表のとおりである。

事業名	期 日	対 象	人数	ね ら い
利用団体指導者 研修会	4月12日(火)	小・中学校 の教諭等	34	少年自然の家の利用方法及び 活動プログラムと野外活動の 実技について研修する。
	6月12日(日)	少年団体等 の指導者	30	
防災デイキャンプ	3月11日(土)	親子	6組	青少年の家を拠点に包装食袋 で野外調理等の防災プログラ ムを体験する。
オリエンテーリング を楽しもう	3月19日(日)	小学生以上	100	丸火自然公園で初心者から経 験者までコースにあわせてオ リエンテーリングを楽しむ。
初めての親子 キャンプ	5月4日(水祝) ～5日(木祝)	親子	4組	青少年の家を拠点にテント泊 体験を行う。
丸火の森の音楽会	4月24日(日) 5月22日(日) 6月26日(日) 7月17日(日) 8月28日(日) 9月18日(日) 10月16日(日) 11月27日(日) 12月18日(日) 1月15日(日) 2月19日(日) 3月12日(日)	制限なし	30	ゴスペルやアコースティック 楽器を使ったコンサートを行 う。
星座観望会	10月15日(土) 1月8日(日) ※5月8日(日) ※8月11日(木祝) ※9月24日(土) ※荒天のため中止	小学生以上	各30	施設屋上での星座観望を通じ て、親子で星と親しむ。
星座観望会	12月2日(金) 12月3日(土) 1月29日(日) ※1月28日(土) ※降雪のため中止	小学生以上	各30	施設屋上での星座観望を通じ て、親子で星と親しむ。 曇天・雨天でもスライド上映 等を行います。
燻製づくり	3月5日(日)	制限なし	30	森のチップで自家製燻製づく りを体験する。
スパイスからの本格 カレーづくり	2月23日(木祝)	親子	30	親子で外遊びを楽しみなが ら、野外料理等を通じて家族 の絆を深める。
火起こし道場	10月1日(土)	小学生高学年	12	さまざまな火起こしの着火実 験を実践して、起こした火で 野外調理を楽しむ。

ちびっこ森の探検隊	8月23日(火) 8月24日(水) 8月25日(木) 12月23日(金) 12月24日(土) 12月25日(日) 3月22日(水) 3月23日(木) 3月24日(金)	年中・年長の 園児	各 14	丸火自然公園内で長期休み期間中の平日、日帰りの預かり保育を実施。参加者は作戦会議後秘密基地づくりなど丸火の自然を楽しむ。
ちびっこ森の探検隊 (小学生編)	9月23日(金祝) 2月11日(土祝)	小学校低学年	各 20	参加者と作戦会議を実施し、秘密基地づくりなど丸火の自然を楽しむ。
ノルディック ウォーキング	4月30日(土) 5月28日(土) 7月23日(土) 8月31日(水) 9月28日(水) 10月30日(日) 11月30日(水) 12月14日(水) 2月15日(水) 3月15日(水) ※6月22日(水) ※1月14日(土) ※荒天のため中止	中学生以上	30	丸火自然公園周辺でノルディックウォーキング(2本のポールを使って歩く運動)と自然を楽しむ。



防災デイキャンプ



はじめての親子キャンプ



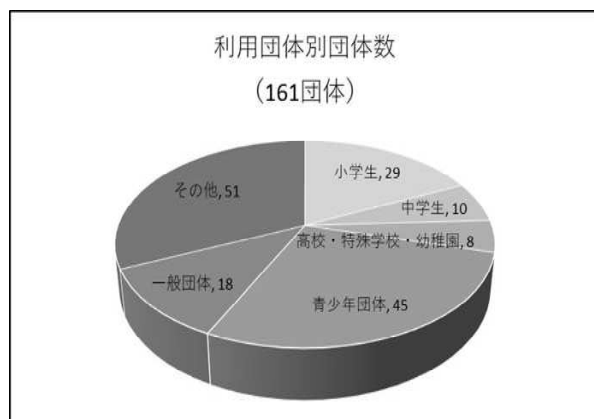
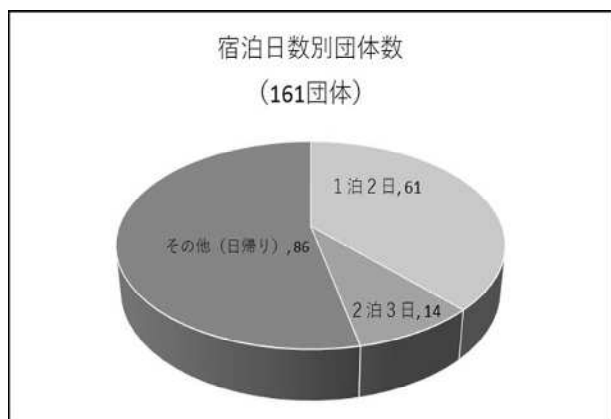
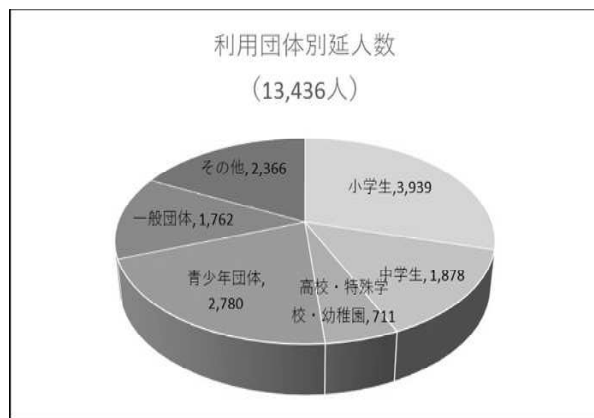
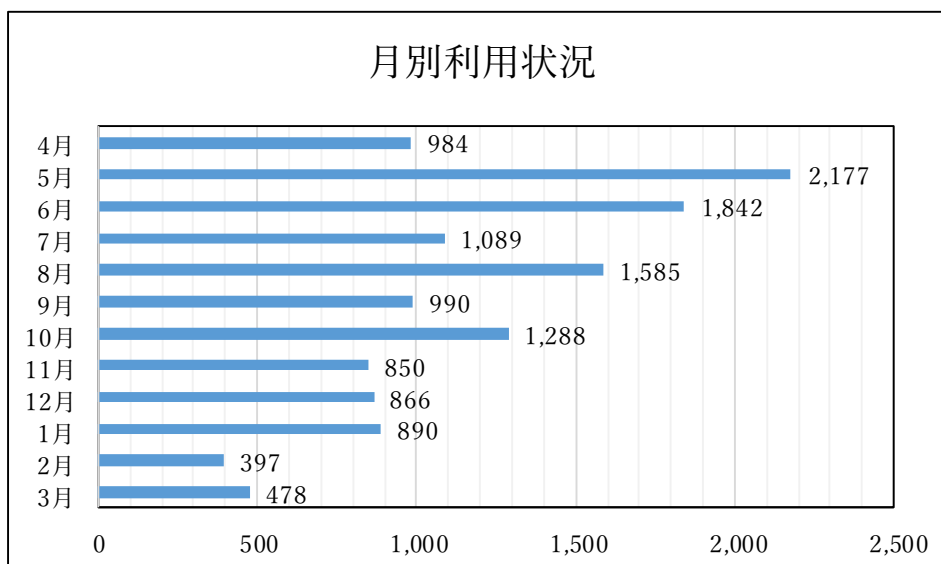
カレーづくり

④ 利用状況

市内小学校5年生対象の「みどりの学校」をはじめ、市内外の小中学生、青少年団体、一般団体の利用があり、その数は延べ13,436人であった。

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、令和3年度に引き続き宿泊数に50%の利用制限を設けた。利用する学校団体は宿泊利用が日帰り利用に変更となるケースが多かったが、緊急事態宣言等で休所になる期間はなく、小規模の一般団体の宿泊利用があり、昨年度と比較して延べ人数で4,156人増えた。

令和4年度 月別利用状況（少年自然の家）



(8) 文化財の保護

市内には、有形・無形の文化財が数多く残されている。文化財は、市の歴史や文化を正しく理解するために欠かせないものであり、市民生活は文化財を始めとした歴史を基盤として成立している。

そこで、指定文化財を始めとする文化財を適切に保護・保存していくための「文化財保護管理事業」、祭礼や習俗等の民俗文化財や、地中に埋まっている埋蔵文化財等の「文化財調査事業」、歴史講座や文化財紹介図書の発行により文化財を周知し、理解を深めることを目的とした「文化財啓発事業」を実施している。

① 文化財の保護管理

先人が守り伝えてきた貴重な文化財を市民共有の財産として維持管理し、後世に継承するため、市所有（管理）文化財の保護・活用事業を実施した。民間が所有する文化財に対しては、補助事業及び助言等を行い、適正な保護・活用を促した。

ア 文化財保護審議会の開催

文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査審議した。

回	開催日・会場	審議事項
1	令和4年8月23日（火） 富士山かぐや姫ミュージアム講座室	・富士市文化財保存活用地域計画について ・市指定無形文化財「大北のカワカンジー」について ・六所家旧蔵資料について
2	令和4年12月8日（木） 市庁舎8階 政策会議室	・市指定史跡「雁堤」周辺工事について
3	令和5年3月23日（木） 富士山かぐや姫ミュージアム講座室	・市指定史跡「雁堤」周辺工事について

イ 県指定文化財

市指定文化財東平第1号墳出土品が、令和4年12月2日付けで県指定文化財に指定された。



東平第1号墳鉄製品出土品



東平第1号墳出土品

ウ 指定文化財等の保護管理

- ・民間所有の指定文化財（対象 40 件）に対して、所有者の維持管理と積極的な保存活用を促進するために文化財報償金を支出した。
- ・天然記念物薬剤散布作業（8 ヲ所）を樹木の特性に合わせて、年間 1 ～ 3 回実施した。
- ・千人塚古墳他 8 ヲ所で除草・清掃作業を実施した。

エ 文化財補助事業

- ・重要文化財古谿荘の防災設備保守点検に対して、文化財保存事業費補助金を交付した。
- ・重要文化財古谿荘の修理事業に対して、文化財保存事業費補助金を交付した。
- ・無形民俗文化財の伝承活動のために、木島のナゲダイマツ及び鶴無ヶ淵神明宮の御神楽保存事業の事業実施団体に対して文化財保存事業費補助金を交付した。

オ 千人塚古墳整備事業

保存活用計画に基づき、基本設計の作成を行った。また、官地取得に伴い、東海財務局と調整し、時効取得の申請を行った。ほか、整備用地隣接地の土地の寄附を受けた。

カ 富士市文化財保存活用地域計画認定記念講演会の開催

- ・令和 2 から 3 年度にかけて策定した富士市文化財保存活用地域計画について、令和 4 年 6 月に認定申請を行い、7 月に文化庁の認定を受けた。計画の内容や今後の取り組みについて広く市民に伝えることを目的に、「文化財の未来を考える」をテーマとして講演会を開催した。
- ・開催日時 令和 5 年 3 月 4 日（土） 午後 1 時から午後 4 時 20 分
- ・会場 ラ・ホール富士 2 階多目的室
- ・記念講演 講師 岡本 公秀 氏（文化庁 地域文化創成本部 文化財調査官）
滝沢 誠 氏（筑波大学 人文社会系教授）

キ 国重要文化財「古谿荘」の保護管理・整備・活用事業

平成 27 年度に策定した保存活用計画を基に、令和 3 年度から 10 か年をかけて修復工事を行う予定である。まず、第 1 期工事として、管理棟、板蔵の部分解体修理、耐震補強等を所有者が行っている。本市は補助金の支出のほか月 1 回の工程会議等に参加し、修理事業の支援を行っている。

② 文化財愛護と普及

各種講座等や出版物の刊行を通して、文化財を市民に周知するとともに文化財愛護意識の醸成を図った。

ア 市政いきいき講座

- ・講座名 「まちの魅力再発見！文化財講座」（講座No.29）
令和 4 年度実績 7 講座 209 人参加
- 「発掘！地元の古代遺跡～富士のふもとの考古学講座」（講座No.30）
令和 4 年度実績 1 講座 24 人参加
- 「文化財を地域で守り、活かすためには」（講座No.31）
令和 4 年度実績 1 講座 24 人参加

イ 文化財説明板

《修繕》 15 箇所

「吉原宿案内標識」破損箇所修繕、「東海道案内標識」修繕 13 箇所、「見よう歩こう富士市の東海道」看板修繕

ウ 沼津市・富士市連携事業

「狩野川・富士川が作り出した古代社会～沼津・富士の原風景を考える～」

(ア) 特別展示

令和5年3月6日（月）から3月19日（日） 会場：沼津市文化センター

(イ) 講演会

令和5年3月12日（日） 午後1時から午後4時30分

会場：沼津市立図書館4階視聴覚ホール

講師：三舟 隆之 氏（東京医療保健大学教授）

「駿河・伊豆の古代社会の成立 カツオがつなぐ都と駿河・富士」

エ 佐野鼎講演会（富士市・開成学園連携協定事業）

・開催日時 令和4年10月1日（土）、15日（土）、29日（土）

午後1時30分から午後3時

・会場 ラ・ホール富士2階多目的室

・内容 第1回 駿河国富士郡が輩出した幕末・維新の賢人佐野鼎と共立学校

（開成学園の前身）の創設

講師：野水勉（開成中学校・高等学校校長）

第2回 幕末に地球を2周！ 富士が生んだ偉人・佐野鼎 49年の足跡と人物像を探る

講師：柳原三佳（ジャーナリスト、ノンフィクション作家）

第3回 万延元年遣米使節とその一員富士水戸島出身の佐野鼎

講師：松平和也（佐野鼎研究会代表）

オ 第36回ふるさと芸能祭の開催

広く市民に郷土芸能について関心をもってもらい、伝統の継承が促されることを目的に、市内の芸能団体に出演してもらい、市民に郷土の芸能を披露した。

・日時 令和5年1月29日（日） 午後1時から午後4時

・会場 富士市文化会館（ロゼシアター） 中ホール

・入場者数 約300人

・出演団体 【富士市民俗芸能連絡協議会所属7団体】

雨乞い芸能保存会、国久保熊野太鼓保存会、原田清流子供太鼓保存会、天間太鼓保存会、鮫島まとい・太鼓保存会、小木の里太鼓保存会、東比奈諏訪神社大龍の舞保存会

・主管 富士市民俗芸能連絡協議会

③ 埋蔵文化財の保護と発掘調査

文化財保護法に基づき埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の周知とその保存に努め、包蔵地内外で行われる土木工事に対して、試掘・確認調査や本発掘調査を実施した。また、発掘調査によって得られた資料は、整理・報告書作成事業を行い、記録保存の措置をとった。

ア 公共事業及び開発行為に伴う発掘調査

令和4年度に実施された発掘調査は55件で、確認調査を51件、本発掘調査を4件実施した。

（参考 令和4年度包蔵地照会件数 公共事業：54件、民間事業：800件）

【確認調査】

No.	遺跡名	区分	調査区分	期間	時代	遺構・遺物
1	天間沢遺跡	民間	確認	4/5		
2	東平遺跡	民間	確認	4/6	奈良・平安	ピット・土器・陶磁器

3	土手内・中原1号墳	民間	確認	4/28		
4	沖田遺跡	民間	確認	4/20～22		
5	三日市廃寺跡	民間	確認	4/12		
6	富士岡1古墳群	民間	確認	4/25		
7	中原遺跡	民間	確認	6/8		
8	柏原遺跡	民間	確認	4/28		
9	柏原遺跡	民間	確認	5/30		
10	沖田遺跡	民間	確認	5/25～27		
11	善徳寺跡。東泉院跡	民間	確認	6/7～9		
12	清水岩の上遺跡	民間	確認	6/17		
13	谷津原古墳群	民間	確認	6/15～16		
14	元吉原宿遺跡	民間	確認	6/27		
15	沢東A遺跡	民間	確認	7/7～8		
16	沖田遺跡	民間	確認	6/20		
17	天間沢遺跡	民間	確認	6/16		
18	舟久保遺跡	民間	確認	8/4		
19	東平遺跡	民間	確認	7/11～12	奈良・平安・中世	ピット・土坑・土器
20	清水岩の上遺跡	民間	確認	7/4	弥生	ピット・土坑・土器・石器
21	船津遺跡	民間	確認	7/20～25		
22	柏原遺跡	民間	確認	11/1～2		
23	比奈1古墳群	公共	確認	9/12～16	古墳	古墳・土器・石器
24	中原遺跡	民間	確認	9/15～20		
25	柏原遺跡	民間	確認	9/8～9		土器
26	三日市廃寺跡	民間	確認	9/26～28	奈良	竪穴建物・溝・ピット・土坑・土器・土製品
27	宇東川遺跡	民間	確認	9/20	縄文・古墳	ピット・土器
28	東平遺跡	民間	確認	10/3		
29	川坂遺跡	民間	確認	9/29～30		土器
30	国久保遺跡	民間	確認	10/20		土器
31	中桁・中ノ坪遺跡	民間	確認	9/22		
32	中原遺跡	民間	確認	10/6		
33	中吉原宿遺跡	民間	確認	10/4		炭化物集中地点・陶磁器
34	舟久保遺跡	民間	確認	10/18		
35	滝下遺跡	民間	確認	10/21		
36	善徳寺跡。東泉院跡	民間	確認	10/25		
37	沢東A遺跡	民間	確認	12/2～5		
38	東平遺跡	民間	確認	10/27		
39	中桁・中ノ坪遺跡	民間	確認	11/15		性格不明遺構・土器
40	天間沢遺跡	民間	確認	11/21		
41	東平遺跡	民間	確認	1/5～12	奈良・平安	竪穴建物跡・ピット・土器
42	川窪遺跡	民間	確認	1/30		土器
43	比奈1古墳群	公共	確認	1/23～25		土坑・土器
44	清水久保遺跡	民間	確認	3/9		
45	柏原遺跡	民間	確認	2/9～13	古墳～平安	ピット・土器
46	中桁・中ノ坪遺跡	民間	確認	2/7	奈良	竪穴建物跡・ピット・土器
47	三日市廃寺跡遺跡	民間	確認	2/9～10		
48	中桁・中ノ坪遺跡	民間	確認	2/7	奈良	竪穴建物跡・ピット・土器
49	三日市廃寺跡遺跡	民間	確認	2/21		
50	三日市廃寺跡遺跡	民間	確認	3/22		
51	会下遺跡	民間	確認	3/28		

【本発掘調査】

1	天間沢遺跡	民間	本調査	8月1日	縄文	
2	沢東A遺跡	民間	本調査	10/11～10/13	弥生・古墳	溝・土坑・ピット
3	川坂遺跡	民間	本調査	2/24～3/31	縄文・古墳・奈良・平安	石器、土器、陶磁器
4	中桁・中ノ坪遺跡	民間	本調査	2/27～3/17	奈良・平安	竪穴建物、土坑・ピット



中桁・中ノ坪遺跡本発掘調査状況



川坂遺跡本発掘調査状況

イ 埋蔵文化財整理・報告書作成事業

発掘調査が終了した遺跡の出土資料や記録の保存・整理作業を実施し、以下の報告書を刊行した。

報告書名	調査原因	調査年度	概要
富士市内遺跡発掘調査報告書－令和3年度－	確認調査ほか	令和3年度	確認調査 52件 本調査 2件
東平遺跡第136地区発掘調査報告書	店舗建設	令和3年度	奈良・平安の掘立柱建物5棟、竪穴建物9棟、土製人形、銅製腰帯具、石製紡錘車
沢東A遺跡第28次調査地点 発掘調査報告書	宅地造成	令和3年度	弥生～古墳時代の耕作溝、古墳時代後期前半の古墳群 須恵器、刀子等
中島遺跡	土地改良 遺跡範囲確認 雨水貯留地建設 宅地造成	昭和60年 昭和63年 平成元年 平成10年	縄文～古墳の竪穴建物2棟、土坑10基等からなる集落跡 縄文中期末～後期前半の土器、石器、土偶の胸部、玦状耳飾り等

指定文化財一覧 計 90 件(国指定8件 県指定 12 件 市指定 63 件 国登録7件) 令和5年3月31日現在

	種 別	名 称	員数	所在地	指定年月日	
国指定	特別名勝史跡	富士山		大淵ほか他市町村に及ぶ	特名 S27.11.22 史跡 H23.2.7	
	重要文化財	建造物	古籬荘 9棟	9棟	岩淵	H17.12.27
		彫刻	木造地藏菩薩坐像	1軀	松岡/瑞林寺	S57.6.5
		書跡	紙本墨書法門百首	1帖	平垣本町	S13.7.4
		工芸品	短刀 銘光包(名物乱光包)	1口	(寄託) (財) 日本刀剣美術館	S8.7.25
		絵画	金地著色春夏山水図 (伝雲谷等顔筆/六曲屏風)	1双	(寄託) 静岡県立美術館	S25.8.29
史跡	浅間古墳	1基	増川	S32.7.1		
県指定	建造物	旧稲垣家住宅 附棟札(文化元年) 2枚	1棟	広見公園	H21.3.23	
	工芸品	太刀 無銘(伝左弘安)	1口	天間	S37.2.27	
	考古資料	中原第4号墳出土遺物	一括	市立博物館	R3.12.27	
		東平第1号墳出土遺物一括	一括	市立博物館	R4.12.2	
	史跡	琴平古墳	1基	中里	S33.9.2	
		伊勢塚古墳	1基	伝法/玄龍寺	S33.9.2	
		庚申塚古墳	1基	東柏原新田	S34.4.14	
		岩淵の一里塚	1対	岩淵	S61.12.5	
	天然記念物	富知六所浅間神社の大クス	1本	浅間本町	S30.4.19	
		慶昌院のカヤ	1本	中里	S46.3.19	
		富士岡地藏堂のイチョウ	1本	富士岡	S46.3.19	
	有形民俗文化財	浮島沼周辺の農耕生産用具	152点	市立歴史民俗資料館	H2.3.20	
市指定	有形文化財	建造物	五輪塔	2基	市立博物館	S44.8.19
			ディアナ号の錨	1錨	三四軒屋緑道公園	H1.12.21
			瑞林寺伽藍	3棟	松岡/瑞林寺	H4.12.25
			旧松永家住宅	1棟	広見公園	H12.8.1
			樋代官植松家住宅長屋門	1棟	広見公園	H12.8.1
			樋代官植松家住宅	1棟	広見公園	H12.8.1
			原泉舎	1棟	広見公園	H12.8.1
			眺峰館	1棟	広見公園	H12.8.1
			杉浦医院	1棟	広見公園	H12.8.1
			稲葉家住宅	1棟	岩淵	H22.5.19
	彫刻	實相寺・木造仁王像(金剛力士像)	1対	岩本/實相寺	S47.8.1	
		實相寺・木造一切経蔵 七福神	1点	岩本/實相寺	S47.8.1	
		妙善寺観音堂俳句扁額	1面	原田/妙善寺	S49.9.1	
		木造広目天・多聞天立像	2軀	原田/妙善寺	S49.9.1	
		木造十一面千手観音坐像	1軀	原田/妙善寺	S55.9.1	
		木造薬師如来坐像	1軀	比奈/医王寺	S55.9.1	
	書籍・典籍・古文書	紙本墨書 稿本 田子のふるみち	1帖	(借用) 市立博物館	S59.12.24	
		紙本墨書 福寿山 瑞林禅寺記	1帖	松岡/瑞林寺	S59.12.24	
		紙本墨書 高林山 法田禅寺記	1巻	(寄託) 市立博物館	S59.12.24	
		紙本墨書 今泉村往古高拔差呂寶鑑	1帖	市立博物館	S59.12.24	
		中村家文書	897点	(寄託) 市立中央図書館	H8.3.19	
	實相寺一切経 宋版4巻、天海版6174巻	合計6178巻	岩本/實相寺	H21.4.21		
	歴史資料	大宝印秋山家資料	1,145点	市立博物館	R4.3.22	
	考古資料	比奈東坂古墳出土品	一括	市立博物館	S44.8.19	
		医王寺経塚遺物	一括	比奈/医王寺	S59.12.24	

	種 別	名 称	員数	所在地	指定年月日	
市 指 定	史 跡	千人塚古墳	1 基	神谷	S51. 7. 23	
		稲荷塚古墳	1 基	船津	S51. 7. 23	
		実円寺西第 1 号墳	1 基	三ツ沢	S51. 7. 23	
		山ノ神古墳	1 基	東柏原新田	S51. 7. 23	
		金原明善翁ら大規模植林地		桑崎	S53. 9. 1	
		雁堤	1 箇所	岩本・松岡	S58. 6. 25	
		竹採塚	1 基	比奈／竹採公園	H 1. 12. 21	
		白隠禅師の墓	1 基	比奈／竹採公園	H 1. 12. 21	
		善得寺墓群のなかの大勲策禅師の墓	1 基	今泉／善得寺公園	H 1. 12. 21	
		善得寺墓群のなかの太原雪斎の墓	1 基	今泉／善得寺公園	H 1. 12. 21	
	天然記念物	船津浅間神社のクス	1 本	船津	S45. 12. 21	
		間門浅間神社のシイ	1 本	間門	S45. 12. 21	
		今宮浅間神社のスギ	1 本	今宮	S45. 12. 21	
		鵜無ヶ淵神明宮のクス	1 本	鵜無ヶ淵	S45. 12. 21	
		十王子神社のイチョウ	1 本	今泉	S45. 12. 21	
		十王子神社のクス	1 本	今泉	S45. 12. 21	
		水の上のタイサンボク	1 本	今泉	S45. 12. 21	
		本国寺のボダイジュ	1 本	今泉	S45. 12. 21	
		曾我寺のカヤ	1 本	久沢	S45. 12. 21	
		曾我寺のシイ	1 本	久沢	S45. 12. 21	
		瑞林寺のモッコク	1 本	松岡	S45. 12. 21	
		瑞林寺のヒイラギ	1 本	松岡	S45. 12. 21	
		医王寺のマキ	1 本	比奈	S49. 9. 1	
		一色のカヤ	1 本	一色	S49. 9. 1	
		八幡穴（溶岩洞穴）	1 箇所	久沢	S52. 10. 3	
		不動穴（溶岩洞穴）	1 箇所	大淵	S52. 10. 3	
		厚原風穴（溶岩洞穴）	1 箇所	厚原	S54. 3. 15	
		本照寺のカヤ	1 本	厚原	S56. 8. 1	
		白髭神社のヒイラギ	1 本	大淵次郎長町	S56. 8. 1	
		木之元神社のムクロジ	1 本	鈴川	S56. 8. 1	
		常盤家のイヌマキ	1 本	岩淵	H23. 12. 22	
		慈林寺のイヌマキ	1 本	中之郷	H23. 12. 22	
		横割八幡宮のクスノキ	1 本	横割	H24. 4. 23	
浮島ヶ原のサワトラノオ群生地	1 箇所	中里	H27. 4. 21			
無形民俗文化財	鵜無ヶ淵神明宮の御神楽		鵜無ヶ淵一丁目	H21. 4. 21		
	大北のカワカンジー		北松野	H23. 12. 22		
	木島のナゲダイマツ		木島	H23. 12. 22		
	岩淵鳥居講		岩淵	H29. 6. 21		
国 登 録	有形 文化財	建造物	旧小休本陣「常盤家住宅主屋」	1 棟	岩淵	H10. 9. 2
			旧岩淵火の見櫓	1 基	南松野	H18. 3. 27
			旧順天堂田中歯科医院診療所兼主屋	1 棟	吉原三丁目	H23. 7. 25
			旧加藤酒店店舗兼主屋	1 棟	本町	H27. 3. 26
			旧東泉院宝蔵	1 棟	吉原公園内（今泉）	H29. 10. 27
			旧六所家門及び塀	1 棟	吉原公園内（今泉）	H29. 10. 27
			岳南電車本吉原駅プラットホーム及びホーム上屋	1 式	岳南電車本吉原駅	R 3. 6. 24

(9) 博物館

① 施設の概要

ア 本館「富士山かぐや姫ミュージアム」

- 開館 昭和 56 年 4 月 25 日
改修落成 平成 28 年 4 月 29 日
- 敷地面積 約 4,951 m²
(付属棟実習室、工芸室敷地面積を含む)
- 延床面積 本館 1,740 m²
付属棟 実習室 200 m²
工芸室 248 m²
- 本館施設・展示室 5・多目的室 1・
収蔵庫 2・講座室 1・ライブラリー・
事務室・調査研究室・空調機械室・
ボイラー室・機材庫他に防災・警備設備等



富士山かぐや姫ミュージアム
(富士市立博物館本館)

イ 分館「歴史民俗資料館」

- 開館 平成 6 年 11 月 16 日
- 敷地面積 1,665 m²
- 延床面積 歴史民俗資料館 657 m²
収蔵庫 209 m²
- 施設 1階 展示室・体験コーナー・
事務室・トイレ
2階 展示室・収蔵庫



富士市立歴史民俗資料館

ウ 分館「屋外展示（広見公園内）」

- 開館 昭和 56 年 4 月 25 日
- 敷地面積 約 39,688 m²
- 延床面積
 - ・樋代官長屋門 69.20 m² (旧植松家表門) 木造平屋建寄棟造茅葺
 - ・原泉舎 74.40 m² (今泉妙延寺土蔵・今泉小学校前身の仮教場) 木造切妻造瓦葺土蔵
 - ・旧松永家住宅 180.37 m² 木造平屋建寄棟造瓦葺、付表門 (薬医門)
 - ・眺峰館 59.01 m² 木造三階建八角尖塔造銅板葺 (洋風建築)
 - ・東平遺跡高床倉庫 18.17 m² 掘立柱高床板倉造切妻式流板葺
 - ・東平遺跡竪穴住居 23.50 m² 竪穴板壁入母屋式茅葺
 - ・横沢古墳 201.00 m² 大淵横沢で発掘調査した円墳
 - ・万葉歌碑 「東歌」『万葉集』卷 14 所収の東歌 1 首「天の原 富士の柴山木の暗の 時移りなば逢はずかもあらむ」
 - ・杉浦医院 138.60 m² 木造二階建寄棟造銅板葺 (洋風建築)
 - ・樋代官植松家住宅 195.00 m² 木造二階建越屋根付瓦葺
 - ・旧独楽荘石倉 33.00 m² 木造切妻造瓦葺石倉
 - ・旧稲垣家住宅 160.39 m² 木造入母屋形式かぶと造茅葺
- 〈その他〉小糸のぶ文学碑、松永末子歌碑、水城孝歌碑、根方街道道しるべ、東海道・大宮街道道しるべ、仁藤春耕道しるべ、一字一石経王塔、室伏半蔵道しるべ、日露友好の碑

エ 分館「富士川民俗資料館」(稲葉家住宅)

- 開館 昭和 47 年 3 月 改修落成 平成 30 年 3 月
- 敷地面積 380.86 m²
- 延床面積 稲葉家住宅 89.40 m²、収蔵庫 33.48 m²
- 構造ほか 木造入母屋造茅葺 市指定有形文化財(平成 22 年)



市指定有形文化財(平成 22 年)
「富士川民俗資料館」



国登録有形文化財(平成 10 年)
「小休本陣常盤家住宅主屋」

オ 博物館管理施設「小休本陣常盤家住宅主屋」

- 公 開 平成 16 年 3 月
- 延床面積 249.13 m²
- 構造ほか 木造平屋切妻造棧瓦葺 国登録有形文化財(平成 10 年)

カ 博物館外部収蔵庫

- 竣 工 平成 27 年 3 月
- 延床面積 428.72 m²
- 構 造 鉄骨造平屋建

② 展示

ア 常設展示

○**展示室 1 テーマ「富士に生きる」**

富士山南麓の地に生活してきた先人たちの歴史や文化を「富士に生きる」という大きなコンセプトのもと 7 つのジャンルで紹介。

- ①富士の舞台＝富士火山・海岸平野のできるまで
- ②富士の黎明＝富士市を代表する天間沢遺跡のジオラマ、旧石器時代から律令時代の市内遺跡出土資料
- ③動乱から泰平の世へ＝鎌倉から室町に至る動乱の時代の資料
- ④街道と宿場のにぎわい＝東海道・吉原宿の変遷
- ⑤水とのたたかい＝富士川治水に功を成した雁堤や浮島沼干拓の歴史
- ⑥富士川舟運と渡船＝富士川と岩淵河岸の歴史
- ⑦富士の災害＝富士火山や水害、地震被害の歴史とロシア軍艦ディアナ号の遭難

○**展示室 2 テーマ「富士山の玉手箱」**

富士山をモチーフとした名品の数々。「富士山を描く」、「富士山をかたどる」、「富士山を記す」等、富士山にまつわる 6 つのテーマを展示。

○**展示室 3 テーマ「富士山とかぐや姫」**

富士山南麓を舞台としたかぐや姫の伝承に焦点をあて、信仰の山・富士の姿を地域に根ざした視点から紐解く。

- ①竹取物語へのいざない
- ②富士山のかぐや姫
- ③かぐや姫と富士山縁起＝記された富士山のかぐや姫物語（卷子本富士山大縁起）
- ④東泉院と下方五社＝六所家総合調査より（日吉浅間神社並神主六所良邑境内絵図）
- ⑤富士のかぐや姫物語ゆかりの地を歩く＝描かれた富士山のかぐや姫物語
- ⑥富士山の女神
- ⑦富士山登山絵図＝描かれた富士山の信仰空間（富士山禅定図）
- ⑧村山修験の活動＝秋山家寄託資料 密教法具の展示
- ⑨岩淵鳥居講

○**展示室 4 テーマ「竹取物語の広がり」**

日本各地の竹取物語ゆかりの地や関連グッズの紹介。

静岡県世界遺産センターとの連携による富士山世界文化遺産の紹介。

イ 特別展示（展示室5・多目的室6）

常設展示以外の特別展、企画展、共催展、テーマ展等の展示会を随時開催している。
展示室5（特別展示室）は気密性の高い特殊な展示ケースを採用。貴重な資料を展示している。

○ライブラリー〈1階〉

県内外の博物館の出版物や富士山に関わる専門書・児童書を揃えている。

図書館にはあまり見られない本を閲覧することができる。また、パソコンにて、館藏品や貴重な映像資料を検索・閲覧できるデジタルライブラリーが併設されている。

ウ 歴史民俗資料館 テーマ「富士に生きる」

○1階 展示室

富士市域は、駿河湾の海岸から富士川・潤井川等の河川によるなだらかな扇状地と東部の低湿地、富士山・愛鷹山へと続く斜面の間に広がる。

海岸の漁村から最北の山村までの標高差 800mの間、それぞれの地に適したくらしを営んだ人びとの姿を以下の6つのテーマに分けてご紹介している。

- ①ハマのくらし（田子浦・元吉原沿岸）＝実物のシラス船や大漁旗、延縄漁用具等
- ②ドブツタのあるくらし（浮島ヶ原周辺）＝ドブツタ（湿田）での田植えのジオラマ等
- ③豊作への願い（浮島ヶ原周辺～加島平野）＝豊作を願う様々な行事
- ④タバシヨのくらし（加島平野）＝タバシヨ（田場所）の田植え用具、スキ等
- ⑤ヤマガのくらし（富士・愛鷹山麓）＝つるべ井戸のジオラマ、木樵、畑作用具等
- ⑥行き来する人々（地域の交流）＝シヨイコや梶、秤等人や物の行き来に使う諸道具

○2階 展示室

富士山南麓の豊富な森林資源や水を利用して発達してきた紙のまち・富士の歴史や学校教育、子どもの遊びや紙のおもちゃ等を展示している。また、近代の戦争と戦時中のくらしについての展示も見る事ができる。

「紙のまち」というフィルターを通して、富士市の近代と未来の姿を考える。

- ①手すき和紙＝和紙づくりの道具、原料等
- ②近代製紙の幕開け＝原田製紙1号機模型、佐野熊ナプキン、富士製紙会社関連資料等
- ③紙のまちへのあゆみ＝県製紙工業試験場資料、マードック賞受賞のメダル等
- ④子どもの遊びと学び＝穆清尋常高等小学校棟札、学習掛図（複製）等
- ⑤戦争とくらし＝軍服、青い目の人形メリー（写真展示）等の戦時資料



戦争とくらし

③ 事業（令和4年度）

ア 企画展等

- ①第58回企画展「トイレの紙さま～おしりふきふき いまむかし～」
- ②テーマ展「東泉院 お宝大発見！」
- ③富士・沼津・三島三市博物館共同企画展「このへん道中いまむかし 富士・沼津・三島の観光」
- ④第59回企画展「河東をめぐる戦国時代」
- ⑤富士山世界遺産登録10周年記念展「富嶽真景 一昭和の富士山写真家 清水緑一」
- ⑥富士山の玉手箱特集展示「富士の巻狩と曾我兄弟の仇討ち」
- ⑦富士山の玉手箱特集展示「富士山登山絵図」
- ⑧富士山の玉手箱特集展示「富士山絵葉書」
- ⑨富士山の玉手箱特集展示「見て！見て！富士山 私たちの夢」
- ⑩富士山の玉手箱特集展示「武田弘氏寄贈富士山コレクション 彩り富士山～絵付けの陶磁器～」

イ 講座・体験学習等

博物館陶芸室や染色室、実習室、旧稲垣家住宅等を会場に、感染症対策を講じながら各種講座・体験学習を行い、先人の知恵や技術を知り、生活体験に触れる機会を設けた。

富士山ネットワーク推進委員会の事業では、第20回目となる「富士山ぐるりんコンテスト」を実施した。

ウ 六所家総合調査

令和2年度末に刊行した一般向け概説書「富士山東泉院の歴史」をもって近世までの調査については一定の成果をみたが、令和4年度からは近代資料の調査・確認に着手した。

エ 富士市立博物館ボランティアの活動

令和4年度末で活動16年目となる。令和4年度は2年に一度の養成講座を実施した結果、8名が新規登録し、現在の登録メンバーは31名となった。主な活動として、博物館主催事業や体験学習での指導・補助、館収蔵資料の整理、展示補助等、多岐に渡る博物館業務にて活動している。

④ 出版物（平成24年度以降）

年度	出版物名	種別、判型等
平成24	第51回企画展『富士市にまつわる物語絵』 『六所家総合調査報告書 民俗』	企画展解説書 A4, 35P 報告書 A4, 112P
平成25	第52回企画展『縄文の美～土器の文様と飾り～』 富士山世界文化遺産登録記念特別展『鳥の目で見た富士～鳥瞰図の世界～』 『六所家総合調査報告書 古文書①』	企画展解説書 A4, 16P 特別展解説書 A4, 30P 報告書 A4, 184P
平成26	春のテーマ展『富士山×絵葉書 平川コレクションに見る富士の姿』 第53回企画展『富士山の下に灰を雨らす 富士の噴火と古墳時代後期の幕開け』 『六所家総合調査報告書 書画』 『六所家総合調査報告書 聖教』	展示会解説書 A4, 23P 企画展解説書 A4, 49P 報告書 A4, 120P 報告書 A4, 450P
平成27	『六所家総合調査報告書 古文書②』 リニューアルオープン記念展『富士のある風景』	報告書 A4, 520P 企画展解説書, 変形 35P
平成28	第54回企画展『東洋美術史の父 大村西崖』 六所家総合調査だより特別号①「護持院隆光と東泉院精海」	企画展解説書 A4, 60P 調査だより A4, 32P
平成29	リニューアルオープン1周年記念展『富士登山列伝 頂に挑むということ』 『富士山かぐや姫ミュージアム 常設展示総合ガイドブック』 第55回企画展『産業の種蒔く人—伝法中原4号墳と古代のエンジニアたち』 『六所家総合調査報告書 古文書③』 六所家総合調査だより特別号②「東泉院の神道資料」	記念展解説書 A5, 32P 概説書 A5 変形, 92P 企画展解説書 A5, 20P 報告書 A4, 520P 調査だより A4, 37P
平成30	富士山世界遺産登録5周年記念展『かぐや姫の里と白隠さん』 第56回企画展『富士が見守る交流の道—古代東海道と富士山ジャンクション—』	記念展解説書 A4, 24P 企画展解説書 A5 変形, 40P
令和元	第57回企画展『東海の軍を発す—伝法 東平1号墳とヒミツの武器』	企画展解説書 A5 変, 30P
令和2	六所家総合調査「富士山東泉院の歴史」	概説書 A4, 140P
令和3	第58回企画展『トイレの紙さま～おしりふきふき いまむかし～』	企画展解説書, A5 変, 29P
令和4	第59回企画展『河東をめぐる戦国時代』	企画展解説書 A4, 20P

⑤ 利用状況（令和4年度）

ア 博物館施設利用状況

年間開館日数	300日
年間利用者数	57,013人
一日平均利用者数	190人
利用者累計(昭和56年度～)	1,911,816人



第59回企画展「河東をめぐる戦国時代」

イ 令和4年度 事業別利用者数

(7) 自主展観事業

事業名	開催期間	人数(入館者数)
第58回企画展「トイレの紙さま～おしりふきふき いまむかし～」	3月19日～6月12日	12,816人
テーマ展「東泉院 お宝大発見！」	7月2日～9月25日	7,271人
富士・沼津・三島三市博物館共同企画展「このへん道中いまむかし 富士・沼津・三島の観光」	10月8日～11月27日	5,288人
第59回企画展「河東をめぐる戦国時代」	12月10日～2月26日	6,701人
富士山世界遺産登録10周年記念展「富嶽真景－昭和の富士山写真家 清水緑－」	3月11日～7月2日	5,332人 (令和5年5月1日現在)

(イ) 各種講座等教育普及活動

講座・教室名	開催日	回数	人数
古代人の暮らし -古代の知恵に学ぶ-	7月24日、8月11日、11月23日	3回	50人
たんけん!はくぶつかん!	7月27日 感染症対策を講じ実施	1回	4人
戦時中の食事	8月6日 感染症対策を講じ実施	1回	14人
お月見お供え団子作り	9月10日	1回	15人
富士の型染体験	10月9日 感染症対策を講じ延期実施(当初7/28)	1回	20人
かまど飯を食べよう!!	6月18日、3月12日 感染症対策を講じ実施	2回	34人
稲葉家で学ぶ富士川の歴史と文化	11月6日、3月19日	2回	14人
小正月の繭玉・小豆粥作り	1月8日	1回	14人

(ウ) その他の事業

イベント名	開催日	人数
博物館の日(手すきハガキづくり、火おこし体験、博物館クイズ 他)	4月・6月・8月・10月・12月・2月の日曜日に感染症対策を講じて実施	994人
かやぶき農家の工芸まつり	5月14日～6月5日、博物館管理施設利用団体の作品展示、販売・体験を通して工芸に親しんでいただく。	1,560人
かやぶき農家の癒しのおんがく会	4月、5月、6月、9月、10月、11月、3月の日曜日に感染症対策を講じて実施	390人

(I) 幼稚園・保育園・小中学校等との連携による体験学習への支援

小・中学校

支援内容	施設数	延回数・延人数・点数
見学対応	15校	22回 1,713人
紙すき体験	2校	2回 66人
縄文土器作り等古代体験（火おこし体験、勾玉含む）	7校	9回 902人
むかしのくらし体験（かまど体験等）	9校	10回 694人
資料貸出（火おこしセット、日常生活用品等）	4校	4回 28点

幼稚園・保育園

支援内容	施設数	延回数・延人数・点数
見学対応	3園	3回 178人

高等学校・大学

支援内容	施設数	延回数・延人数・点数
見学対応	1校	1回 5人
紙すき体験	1校	1回 5人

その他施設

支援内容	施設数	延回数・延人数・点数
古代体験（土器づくり、火おこし）	2か所	3回 31人
紙すき、折り紙体験	3か所	3回 63人
出前講座・講演会等	9か所	9回 272人

⑥ 資料・図書収集状況（令和4年度末現在）

収蔵資料総合計数 ※視聴覚資料の数には委託制作ビデオを含む。

	館所蔵				寄託	借用	合計
	寄贈	購入	収集	移管			
民俗	14,068	89	0	2,091	343	17	16,608
美術工芸	5,954	1,031	0	96	69	15	7,165
歴史	20,957	621	0	1,481	1,374	8	24,441
考古	3,211	3	0	4,214	2	711	8,141
紙関係	1,882	394	0	61	1	22	2,360
自然	25	0	0	98	1	0	124
視聴覚	335	106	204	11	0	0	656
その他	8,061	1	0	0	0	0	8,062
合計	54,493	2,245	204	8,052	1,790	773	67,557

※六所家関係資料、山崎家関係資料、森家関係資料は、整理中のため未計上。

※武田氏関係資料（富士山コレクション）は、寄贈分類「その他」で受入れ、今後整理作業を進め、正式な分類に振り分ける予定。

(10) 教育文化スポーツ奨励賞

教育、文化及びスポーツの振興に寄与する市民等の活動を奨励するため、教育、文化及びスポーツの振興に優れた業績をあげているもので、将来一層の発展が望まれる市内の個人又は団体を表彰する。

令和4年度受賞者

◆渡邊 邦義（スポーツ・空手道）

長年、公益社団法人日本空手協会師範会員及び同富士支部長として、空手道の普及に尽力され、国民体育大会や全日本選手権大会において優勝者を輩出するなど、選手の育成に大きな功績を上げている。空手道を通じたスポーツ振興に努められ、今後も活躍が大いに期待される。

◆富士市バスケットボール協会（スポーツ・バスケットボール）

長年、スポーツの振興に貢献されている。創設以来、小学生の育成を目的としたミニバスケットボール教室や市長杯など各種大会の開催を通じ、競技の普及に努められている。また、各年代で全国大会に出場するなど、地域全体のレベル向上に寄与されており、今後も活躍が大いに期待される。

◆富士マジッククラブ（文化・マジック）

長年、文化芸術の振興に貢献されている。富士市総合文化祭への出演のほか、地区行事や、高齢者施設等において日頃磨いた技術を披露し、市民の心に潤いを与えている。マジックを通じて世代間交流などを図るとともに、後進の育成にも尽力されており、今後も活躍が大いに期待される。

◆MAUハンドベルリンガーズ（文化・音楽）

長年、文化芸術の振興に貢献されている。富士市総合文化祭での演奏や、かやぶき農家の癒しのおんがく会等において、ハンドベルが奏でる幻想的な音色で、多くの市民に感動を与えている。様々な行事への参加など、積極的な音楽活動を行っており、今後も活躍が大いに期待される。